

【SF プロトタイピング小説の概要】

SF プロトタイピング小説→タイトル：『Nagaoka 2047』

〈舞台設定〉↓

時代：2050 年前後

【研究の目的】で紹介した、①～④を主題としている。

場所：新潟県長岡市

〈主要登場人物と小説内の流れ〉↓

相沢 アオ

加瀬 リン

年齢：22 歳 (2047 年時点)

出身：新潟県長岡市

所属：長岡造形大学 4 年

専攻：まちづくり

年齢：22 歳 (2047 年時点)

出身：東京都世田谷区

所属：長岡技術科学大学 4 年

専攻：生物科学

概略・・・

複合的な課題が顕在化する未来社会を舞台に若者たちが試行錯誤を繰り返し、地域運営や合意形成の仕組みを更新していく過程が描かれる

全体の流れ

新潟県長岡市で誕生
長岡市内で小中高生活

2025

東京都世田谷区で誕生

2030

23 区内小中高生活

高齢化率 30%超

2035

2040

南海トラフ地震発生

2045

首都直下地震発生

長岡造形大学入学
イスダス文明探検隊
23 代目隊長に就任

長岡技術科学大学入学
アクアポニックス実験の
計画中

2047

共同研究開始

オブザーバー制度導入

プラントフォーム社と協力→アクアポニックスユニットの制作・運用

2048

長岡技術科学大学卒業

長岡造形大学卒業

Patch Field (まちづくり事務所) 発足

Civic Mesh を軸に活動

2049

公開ディスカッション→高齢者を中心に住民から幅広く理解を得る

アクアポニックスプロジェクトの大型化・多角化

2050

アクアポニックスプロジェクトの中止

今後の存続が不安視

全国的な資源・水不足が発生

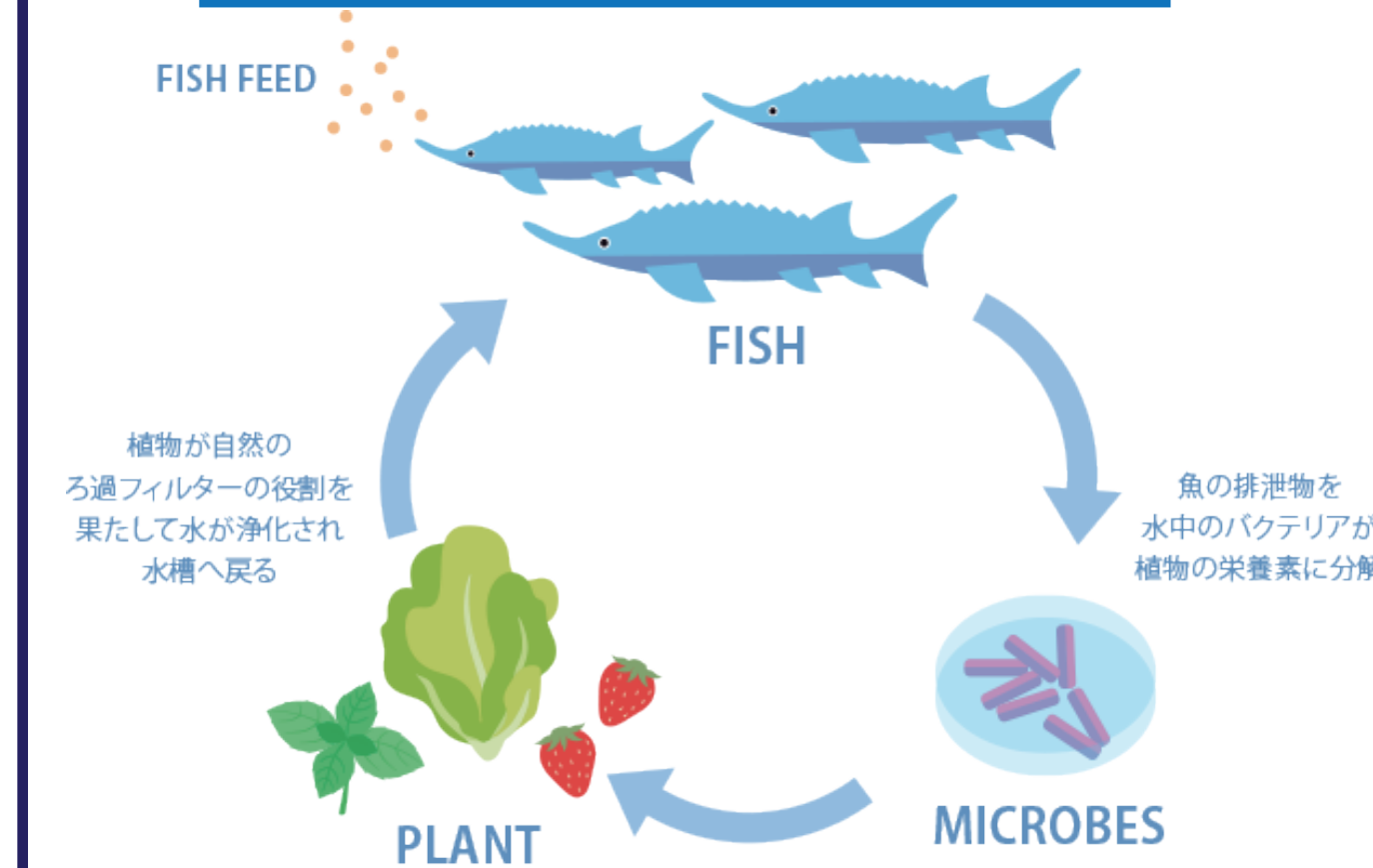
危機を脱する

To be continued...

Patch Field 法人化←アクアポニックスプロジェクト再開

【イスダス文明探検隊とアクアポニックス】

アクアポニックス



〈特徴〉

魚と植物を同一システムで育てる循環型の農業形態。農薬や化学肥料などを必要とせず、通常の農法と比較しても収益性が高いという特徴がある。

株式会社プラントフォーム/アクアポニックスとは

イスダス文明探検隊

長岡市におけるイスダス文明探検隊の

活動は、2025 年に長岡造形大学の

地域協創演習という形で始まった。

長岡市中心市街地にイスとテーブルを置く活動を主とする。



作:イスダス文明探検隊隊員

【アンケート調査・分析・総括】

『Nagaoka 2047』について、読者調査を行った。

調査方法：Google フォーム

主な対象：長岡造形大学学生 (18-22 歳前後)

調査人数：88 名

調査期間：2025 年 10 月 -12 月

アンケート結果：分析項目 (抜粋) ↓



読前アンケート



読後アンケート

「イスダス文明探検隊」経験者と非経験者の比較

〈アンケートでの主要項目〉

・長岡市の未来に対する関心度・・・

・若年層中心の地域運営について・・・

・東京一極集中に危機感を覚えるか・・・

など

〈総括〉

「SF プロトタイピング」を用いてフィクション作品がいかにして地域課題への主体的関与を喚起しうるかを実証的に検討した。本手法は概念の登場から約 15 年という歴史の浅い分野でもあるため、今後は一般化と更なる発展が大いに期待されている。本研究の成果においても、学問分野としての「SF プロトタイピング」の礎のひとつとなれば幸いである。

	経験者	非経験者
・長岡市の未来に対する関心度	4.57	3.94
・若年層中心の地域運営について	4.50	4.50
・東京一極集中に危機感を覚えるか	100%	94%

↑5 件法で集計、数値化した。

「全くそう思わない」=1 点、「とてもそう思う」=5 点